

歯磨き&治療頑張ったよ!



12月16日、「むし歯のない子表彰式」が健康づくりセンターで行われ、むし歯ゼロの幼児40名が表彰されました。

この表彰をされたのは、平成30年9月までの約1年間に受診した3歳児対象の健康診査と平成30年10月に実施した就学児対象の健康診査でそれぞれむし歯がなかった幼児です。

今回、3歳児健康診査を受診した19名全員がむし歯ゼロで、表彰を実施してから初の快挙になるとのことです。この要因を保護者に伺ったところ、毎食後の歯磨きを徹底していたようで、日頃から子どもの歯を大切にしようとする意識が共通して感じられました。子どもの健康は町にとっても大切な財産ですので、今やっていることが、子どもの生活習慣としてしっかりと身についてくれることを期待しています。

誰でもレジャーを楽しめる環境を目指す

12月7日、町主催によるバリアフリーレジャー講演会が健康づくりセンターで開かれ、23人がバリアフリーの心構えを学びました。この講演会は、障がい者を含め誰でも安心してレジャーを楽しめる社会の実現を図ろうと企画したもので、フリーのテレビディレクターでユニバーサルデザインPR番組の制作に携わっていた山田もと子さんが講演しました。

山田さんは、最初から完璧なバリアフリーな環境を作り上げることとは困難であると指摘した上で、「事前に段差や手すりの有無などバリア情報を隠さずに伝えることが重要で、訪れた障がい者に必要なことを教えてもらいながら少しずつ改善していくとよい」と話していました。

参加者は、「役立つ情報であり、今後に活かしたい。」など障がい者の視点を加えることの必要性を感じていました。



改修工事が進む大留交差点



現在、大留交差点の改修工事が進んでおり、完成すると北海道初のラウンドアバウト（環状交差点）となります。

大留交差点は国道、道道、町道が複雑に交差しており、これまで多くの交通事故が発生していたことから、北海道開発局函館開発建設部が事業主体となつて平成30年10月下旬に工事が開始されました。現在は、三叉路の花壇が撤去され、一時的に丁字路交差点となつているほか、環状の交差点が出来上がるまで、段階的に交差点形状の変更が行われ、本年中の完成を目指して工事が進められます。

高校生が考えた木のおもちゃ

12月13日、上ノ国高校3年生が製作した木のおもちゃ6個が上ノ国保育所に寄贈されました。

同校では「子どもの発達と保育」の授業の一環で乳幼児の心身の成長を促すおもちゃの製作を行っており、今回寄贈されたものは、生徒が考案したものです。いずれのおもちゃも、園児の興味を引いたり、協力して遊ぶように工夫され、誤飲を防ぐために部品を大きくするなど安全性にも配慮されています。

この日、授業の実習で訪れた生徒からおもちゃが手渡されると、園児は早速これらを使って仲良く遊びに興じていました。おもちゃを考案した生徒は「このおもちゃを使った遊びを通じて協力することを学んでもらえれば」と話していました。

